

森之宮移転3部局 合同研究フォーラム2024

知の森への誘い

—Well-Being創造を目指して—

◆2024年11月24日（日）13:00～17:00

◆大阪公立大学杉本キャンパス

学術情報総合センター(杉本図書館)10F大会議室

2025年秋に森之宮新キャンパスに進出する大阪公立大学の文学研究科・生活科学研究科(食栄養学科)・リハビリテーション学研究科は、森之宮移転3部局として、分野融合型の共同研究や合同での地域社会連携事業を推進しています。

その一環として、若手研究者の研究シーズ交流の機会として合同フォーラムを開催し、共同研究や地域社会連携事業のシーズを探ります。



JR阪和線「杉本町(大阪公立大学前)駅」下車
東口から徒歩5分

合同研究フォーラム プログラム

13:00～13:15

オープニングイベント

13:20～15:20

4つのブース型セッション

■セッションA

「Well-Being創造支援の最前線」

■セッションB

「人間の感覚と指向性を科学する」

■セッションC

「地域と空間の社会的探究」

■セッションD

「メディアと人文学の方法」

15:40～16:50

■分野融合セッション

「森之宮でのWell-Being創造

モデル構築を目指して」



※合同研究フォーラム特設サイトは右のQRコードから。⇒

知の森への誘い

—Well-Being創造を目指して—

合同研究フォーラム2024 プログラム

13:00～13:15 オープニングイベント

13:20～15:20 ブース型セッション

(セッションA～D)

—休憩—

15:40～16:50 分野融合セッション

16:50～17:00 まとめ

17:15～

交流・懇親会

(ののほなハウス)

■セッションA (13:20～15:20)

「Well-Being創造支援の最前線」

- ▶西山菜々子(リハ/作業療法学/助教)
「緩和ケア病棟入院中の終末期がん患者に対するリハビリテーションの有効性検証ならびに普及実装」
- ▶玄 安季(リハ/理学療法学/D3)
「森之宮地域に住まう社会的フレイルな高齢者における、運動教室終了後の社会的交流の仕組みづくり」
- ▶出口美輪子(生科/食栄養学/特任助教)
「障がいのある人がスポーツを楽しむために—栄養サポートの重要性と課題—」
- ▶小林右京(文/人間行動学・心理学/M2)
「未来志向メッセージが日本人若年層の献血意図に及ぼす影響」

■セッションB (13:20～15:20)

「人間の感覚と指向性を科学する」

- ▶上野慶太(リハ/作業療法学/D3)
「リハビリテーションにおける脳波/バイオマーカーの応用—様々なウェアラブル脳波計を用いた活用事例—」
- ▶河 ゆき(生科/総合福祉・臨床心理学/M1)
「ウソ発見は音楽に方向づけられるのか—聴覚的背景情報が隠匿情報検査におけるNIRS反応に及ぼす影響—」
- ▶佐々木裕太郎(生科/食栄養学/D2)
「食品成分によるガン予防効果とその作用メカニズム」
- ▶永延佳那子(文/人間行動学・心理学/M2)
「先んじて協力を示すことを促すための心理・社会的要因の分析」

■セッションC (13:20～15:20)

「地域と空間の社会的探究」

- ▶辻中 棕(リハ/理学療法学/D1)
「都市部の交通網変化によるまちづくり事業—フレイルな独居高齢者の生活、行動変化に着目して—」
- ▶金隼泳(生科/居住環境学/D1)
「戦後日本における最初期の住宅地計画とその空間的特徴に関する研究」
- ▶天谷宙詩(生科/総合福祉・臨床心理学/D3)
「貧困の地域差に関する研究—大阪市を例に—」
- ▶本多忠素(文/人間行動学・地理学/研究生)
「死者の空間の公共性と宗教性—都市における納骨堂の建設問題—」

■セッションD (13:20～15:20)

「メディアと人文学の方法」

- ▶山上紀子(文/フランス近代美術史/UCRC研究員)
「オディロン・ルドン研究の現在」
- ▶高野保男(文/哲学・倫理学/UCRC研究員)
「メタ哲学の非哲学的論点」
- ▶謝悦(文/東洋史学/UCRC研究員)
「宋代「巫風」再考—『夷堅志』から見る巫医関係—」
- ▶管新寧(文/中国語中国文学/D2)
「映画と博覧会『満洲国』の文化展示と宣伝—『皆大歡喜』を事例に—」

■分野融合セッション(15:40-16:50)「森之宮でのWell-Being創造モデル構築を旨として」

- ▶橋本博文(文/人間行動学・心理学/准教授)
「ヘルプマーク周知・理解を促す社会的な仕掛け構築のための心理学とデザインストラテジーの応用」
- ▶日本システム技術株式会社+加登遼(生科/居住環境学/講師)
「森之宮新キャンパスと産学連携:生活科学研究科と日本システム技術株式会社との部局間連携と今後の展開」
- ▶上田哲也(リハ/リハビリテーション学/講師)
「森之宮URでのモデルルーム展開と高齢者のWell-Being」